

課題番号：デブリ-219

課題名	廃炉プロセス「燃料デブリ取り出し」 検討対象「取り出し工法・システム」 課題「燃料デブリ加工時の安全性確保」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し		1.2		
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				
		(参考) 関連する研究課題					
1	デブリ取り出し時の監視手段を確立したい	●燃料デブリ取り出しを安全に実施するために、RPV内、PCV内で実用的な視覚・計測能力を有する監視手段の確立が望まれる。 ●燃料デブリ取り出しを安全に実施するために、切削による多量のα核種を含む放射性飛散微粒子（αダスト）の状態変化を監視することが望まれる。 ●燃料デブリ取り出しを安全に実施するために、炉内の試料を外部に持ち出す前に遠隔による分析を行うことで試料の性状をその場で取得することが望まれる。	<b>【実施されている研究課題】</b> 廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出し基盤技術の高度化（燃料デブリ取り出し時の監視技術の開発）」 H27年度英知「先進的光計測技術を駆使した炉内デブリ組成遠隔その場分析法の高度化研究」 H31年度英知「燃料デブリ取り出し時における炉内状況把握のための遠隔技術に関する研究人材育成」				
			<b>【検討されている研究課題】</b> 課題リスト「その場」測定・分析技術の開発 課題リスト「内部観察・レーザーモニタリング技術の開発」 課題リスト「取出し後の迅速なデブリ構成物の推定技術」				
2	デブリの安定化手法を確立したい	●燃料デブリ取り出しの加工時に安全性を確保するために、燃料デブリ、MCCIの確実・簡便な安定化とその維持の検討が望まれる。	<b>【実施されている研究課題】</b> 特になし				
			<b>【検討されている研究課題】</b> 特になし				
関連する課題		デブリ-102「PCV・RPV内部の構造物の状況把握」 デブリ-301「PCV内燃料デブリ取り出し」 デブリ-302「RPV内燃料デブリ取り出し」					